

| Column |

## ART & CULTURE around 芸劇

### 『Q』:A Night At The Kabuki 海外公演

\*ロンドン公演は「A Night At The Kabuki」というタイトルで上演

#### ロンドン公演

2022年9月22日㊦～9月24日㊧ Sadler's Wells Theatre

#### 台北公演

2022年10月25日㊨～10月30日㊩ 台湾國家兩廳院 國家戲劇院



ロンドン公演カーテンコール

## 東京芸術劇場共催

# NODA・MAP海外公演 報告会レポート

11月4日、東京芸術劇場2階のCafé des Artsで、NODA・MAP

ロンドン公演「A Night At The Kabuki」のメディア向け報告会が行われた。

約30年前、イギリスに1年間の演劇留学をした野田秀樹は、以降、多忙な活動の中に、海外への眼差しを加えた。事実、この公演の前売り完売も、イギリスで積み上げてきた活動が理由のひとつのはずだが、実際の反響は予想を遥かに上回る大きさだったという。



報告会での野田秀樹

この日、集まった記者に配布されたのは、A4サイズ19ページにまとめられたロンドン公演現地劇評の翻訳だった。サドラーズ・ウェルズ・シアターで3日間（9月22、23、24日）だけの公演にもかかわらず、タイムズをはじめとするメジャー紙、カルチャー誌、演劇メディアと、なんと12媒体が「A Night～」のレビューを掲載。内訳は最高の5つ星が3、4つ星が4、3つ星が2、星取表形式を取らない絶賛評が3という高評価で、いずれの内容も、相応の文字数を費やし、書き手の興奮が克明に伝わるものだった。特に、一瞬で場所と時代が移り、交差するマジカルな展開、俳優たちの魅力と演技力、フィジカルシアターを思わせる動きと美術や小道具の美しいシンクロなどが、強いインパクトを与えたことがわかる。野田は「演出に関する反響は、劇団（夢の遊眠社）をやっていた頃に国内で言われたことに近いと思いました」と話し、「僕がイギリスで作品を発表し始めたのは20年ほど前なので、観客も評論家も世代が新しくなり、今の層は、日本の漫画やアニメで（異なる時空へ飛ぶ感覚を）持っているのではないかと分析。また、「大きかったのは字幕。実は、1度完成

したものを全部、別の人に翻訳し直してもらったんです」と、経験値の高さによる判断の成功も話した。

劇場での生の反応は格別だったようで「最初から反応は良く、竹中（直人）さんが登場したシーンで客席が沸いた時は、あまりにも反応が大きく、何かトラブルが起きたかと思ったほどでした。それでも「初日のカーテンコールの拍手の大きさと、1500人の満員のお客さんが次々とスタンディングオベーションする姿は予想していなかった。あの光景は忘れられません」。

対コロナの規制が緩んできた一方、急激な円安が海外公演や外国からの招聘を足踏みさせる状況がある。その中で、日本のカンパニーが海外で公演をする意味を問われた野田は「表現者が過度に守られない環境で外に出て行くことは非常に重要。国内では予想もしなかった反応を海外でもらって気付くことは非常に多く、それは成長の糧になる。出ること、出て混ざることのでられるものはかけがえがありません」と答えた。その成果はその後の作品で日本の観客が受け取ることになり、表現者の成長に留まる話ではないだろう。取材・文 徳永京子（演劇ジャーナリスト）

## INFORMATION

東京芸術劇場では、劇場をご利用になるすべての方の安全と安心のため、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組みをおこなっています。ご来館される皆さまは、当劇場ウェブサイトの【東京芸術劇場における新型コロナウイルス感染症対策とご来館される皆さまへのお願い】や館内掲示されている注意事項などを、ご確認ください。



次号の発行は2023年4月1日を予定しています。

### 〈鑑賞サポート〉について

東京芸術劇場では、一部の事業で、視覚・聴覚障害者のための舞台鑑賞サポートやヒアリンググループ、各種割引、託児サービスなどの〈鑑賞サポート〉を行っております。ぜひご利用ください。詳細 ▶ 劇場HP内「鑑賞のサポート」ページ  
[www.geigeki.jp/access/support.html](http://www.geigeki.jp/access/support.html)

新型コロナウイルス感染症にかかわる諸般の事情により、掲載情報に変更がでる場合がございます。最新情報は、東京芸術劇場ホームページ等でご確認ください。

# 東京 芸術 劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre